

主催：インターカルト日本語学校 日本語教員養成研究所



令和5年度文化庁現職日本語教師
研修プログラム普及事業



「生活者としての外国人」に対する 日本語教師【初任】研修

2023年8月26日（土）開講

全17回（8/26-1/27）全90時間（ライブ研修+課題）



- ✓ 「生活者としての外国人」のおかれている現状と取組みを学ぶ。
- ✓ 「生活者としての外国人」に対する日本語教師として必要な知識、技能、姿勢を学ぶ。
- ✓ 「地域の事例」を学び、共に考える。
- ✓ 「日本語教育の参照枠」について正しく理解する。
- ✓ 「日本語教育の参照枠」及び「生活Can do」を研修の中で学び、活動案を考える。

✓ **対象** 日本語教師養成講座420時間修了または、日本語教育能力検定試験合格
日本語教師経験0~3年程度の方

✓ **受講料** 20,000円（税込）

共催

北海道
一般社団法人 北海道日本語センター

東海
Semiosis株式会社

東北
一般社団法人 ふくしま多言語フォーラム

中国
インターカルト周南公立大学内サテライト

インターカルト日本語学校 日本語教員養成研究
〒110-0016 東京都台東区2-20-9
03-5816-5019 WWW.INCUL.COM
担当：谷口

申込はこちらから



内容

「生活者としての外国人」に対する日本語教育人材に求められる、「地域日本語教室で日本語を教える際の姿勢」や「多文化共生に関する知識」、多様なニーズに対応するための「臨機応変に対応できる知識と技能」「コロナ禍でも継続的に生活支援、学習支援をするためのICTの知識」を広く学びます。今年度は、「日本語教育の参照枠」及び「生活Can do」を研修の中で学び、教育実践として活用できるようになることを目指します。

各地域でデジタルツール活用のノウハウを広げていくことのできるような人材育成の研修、地域の課題にアイデアを創出する研修を対面で実施します。（*希望者）

日程

★ 全17回（土曜日） 9：30～11：00 11：15～12：45

2023年

{8月} 8/26
{9月} 9/2、9/9、9/16、9/30
{10月} 10/7、10/14、10/28
{11月} 11/4、11/11、11/18
{12月} 12/2、12/9、12/16、12/23

2024年

{1月} 1/13、1/27
(1/20は活動案の相談日 希望者のみ)

○全ての研修を録画しますので、欠席した場合は録画視聴は可能です。

○1月は活動案を作りますので、なるべく出席をお願いします。

★詳しいスケジュールは、HPをご覧ください。

講師

【生活者に関する日本語教育】

西原鈴子（特定非営利活動法人 日本語教育研究所理事長）
伊東祐郎（国際教養大学 専門職大学院グローバル・コミュニケーション実践研究科 日本語教育実践領域 特任教授）
大木 充（京都大学名誉教授）
加藤早苗（インターカルト日本語教員養成研究所所長）

【地域のICT】

山田智久（西南学院大学外国語学部 学部長）

【多文化共生】

新居みどり（特定非営利活動法人CINGAコーディネーター）
矢崎理恵（社会福祉法人さぼうと21学習支援室チーフコーディネーター）
徳井厚子（信州大学教育学部教授）

【地域日本語教育 1】

萬浪絵理（特定非営利活動法人 国際活動市民中心（CINGA） 理事・日本語教育コーディネーター）
関崎友愛（日本語サービスYOU&I代表、埼玉県地域日本語教育コーディネーター、埼玉県日本語教室支援協議会委員）
仙田武司（公益財団法人しまね国際センター 多文化共生事業推進課長）
渡辺唯広（株式会社凡人社 編集部編集長）
大橋由希（株式会社凡人社 編集部主任）

【地域日本語教育 2】

大井裕子（一般社団法人北海道日本語センター理事）
阿部仁美（一般社団法人北海道日本語センター理事）
幕田順子（一般社団法人ふくしま多言語フォーラム理事）
佐々木千賀子（蓬莱日本語教室 副代表）

QRコードより
お申込みください



申込み締切：2023年8月24日（木）

★希望者多数の場合は先着順となります。